

館林市の概要

R7.7 サウンディング資料

「鶴舞う形」といわれる群馬県の、鶴の頭の部分にあり、関東地方のほぼ中央に位置しています。

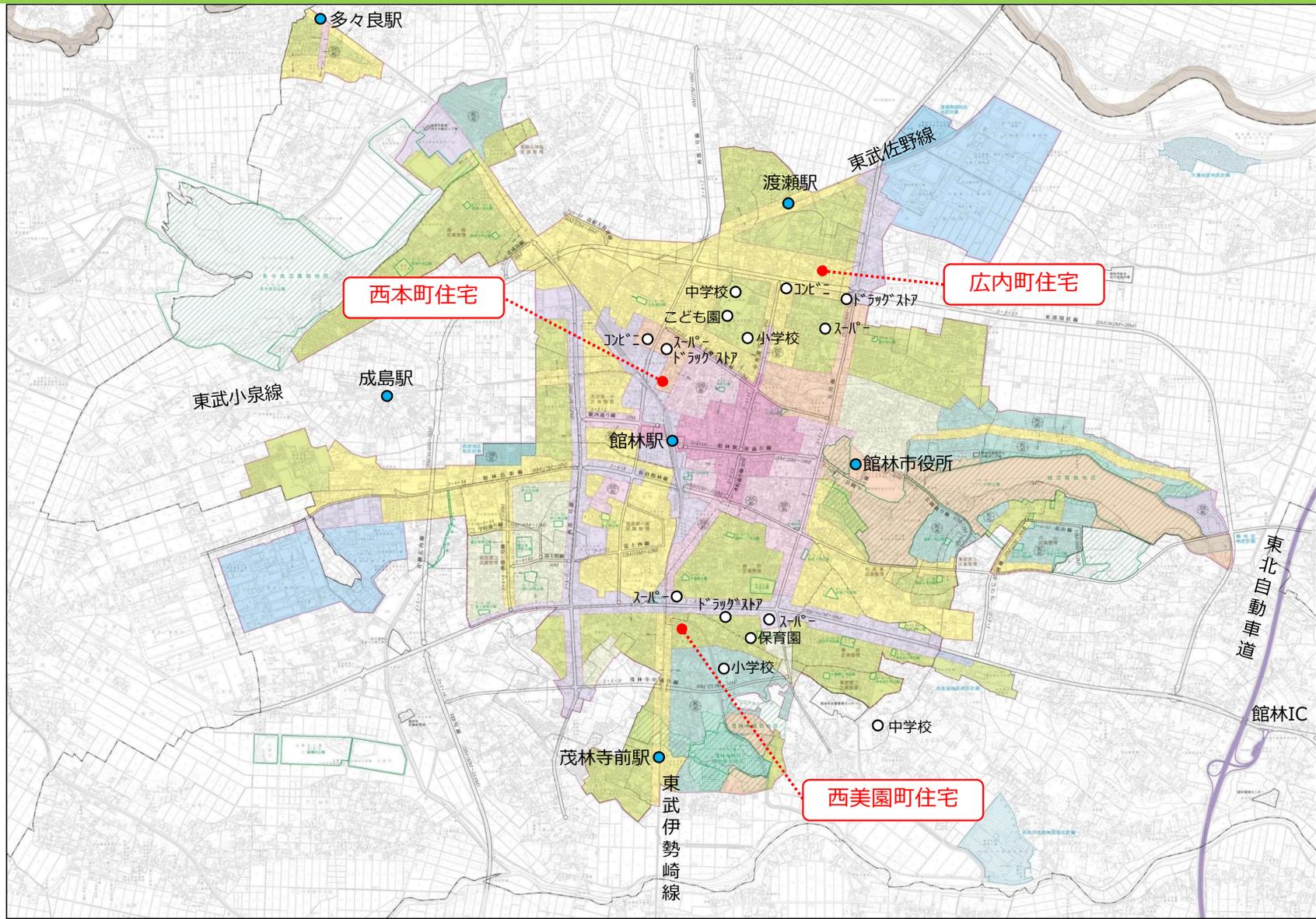
渡良瀬川や利根川といった大きな河川が流れ、多くの池沼（里沼）が点在するなど、自然環境に恵まれ、多様な動植物の生息地となっています。

城沼と多々良沼で越冬した白鳥たちが北の大陸を目指し始め、桜の花とこいのぼりの競演で春が幕を開けると、つつじ、花菖蒲、花ハスに彼岸花と、色鮮やかな花々が四季折々に館林を彩ります。

浅草まで約70キロメートルと東京に近く、東北自動車道や東武鉄道により約1時間でアクセスできることから、都心へ通勤するかたの通勤圏としても役割を果たし、日帰り観光地としても多くのかたが訪れます。

豊かな水資源や交通の便の良さからも、食品工場が多く立地しています。





西本町住宅（航空写真）

- ・第二種住居専用地域
- ・建ぺい率60%、容積率200%
- ・501㎡（測量済）
- ・市街地だが敷地はそこまで広くない
- ・館林市立地適正化計画の居住誘導区域内
- ・現状は更地
- ・東武館林駅まで徒歩6分程度
- ・館林ICまで車で14分



西本町住宅（現況写真）



西側市道（4.5m程度）



対象地（南西から撮影）



対象地南側（市有地）



対象地南側（市単独住宅）



西美園町住宅（航空写真）

- ・ 第一種中高層住居専用地域
- ・ 建ぺい率60%、容積率200%
- ・ 2,136㎡（測量済、道路部分含む）
- ・ 市街地から少し離れた住宅街
- ・ 館林市立地適正化計画の居住誘導区域外
- ・ 敷地は広いが接道が狭小
- ・ 道路部分分筆済
- ・ 木造市営住宅2棟残存(1棟は解体予定)
- ・ 一部を地区広場として使用中
- ・ 東武茂林寺前駅まで徒歩14分
- ・ 館林ICまで車で10分



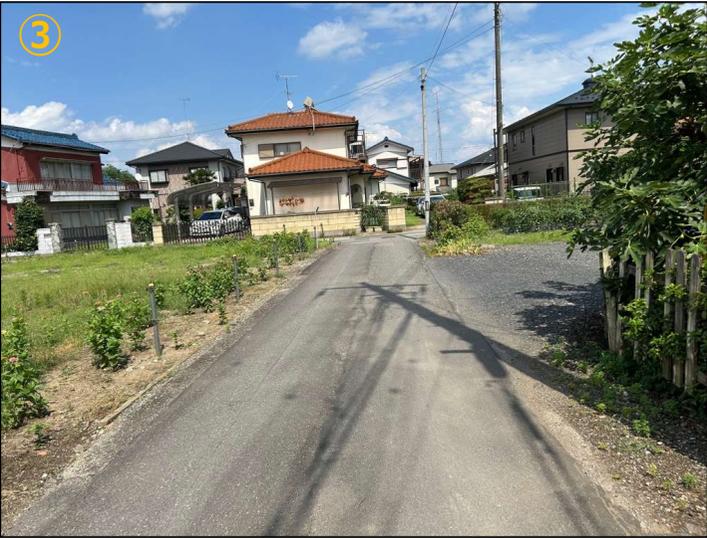
西美園町住宅（現況写真）



① 対象地（南西から撮影）



② 対象地[地区広場]（南東から撮影）



③ 南側市道（4m程度）



④ 残存する市営住宅

広内町住宅（航空写真）

- 広内町第1住宅
- ・第一種住居専用地域
 - ・建ぺい率60%、容積率200%
 - ・3,150㎡（未測量）
 - ・市街地から少し離れた住宅街
 - ・館林市立地適正化計画の居住誘導区域内
 - ・敷地は広いが接道が狭小（4m程度）
 - ・北側市道部分が分筆されていない
 - ・木造市営住宅が4棟残存（1棟解体予定）
 - ・県営住宅跡地（更地）が隣接
 - ・東武渡瀬駅まで徒歩14分
 - ・館林ICまで車で10分

- 広内町住宅第2、第3住宅
- ・第一種住居専用地域
 - ・建ぺい率60%、容積率200%
 - ・6,695㎡（未測量）
 - ・市街地から少し離れた住宅街
 - ・館林市立地適正化計画の居住誘導区域内
 - ・敷地は広いが接道が狭小（4m程度）
 - ・敷地内通路は未分筆（市道認定なし）
 - ・木造市営住宅が3棟残存
 - ・一部を地区広場、地区会館として使用中
 - ・県営住宅跡地（更地）が隣接
 - ・東武渡瀬駅まで徒歩14分
 - ・館林ICまで車で10分



広内町第1住宅（西側）



対象地(敷地内通路南東から撮影)



対象地(敷地内通路南西から撮影)



残存する市営住宅



北側市道（4m程度・開渠）

広内町第1住宅（東側）



⑤ 対象地（南西から撮影）



⑥ 残存する市営住宅



⑦ 対象地南側の県営住宅跡地



⑧ 西側市道（4m程度）



広内町第2、第3住宅



対象地④ (南西から撮影)



地区会館



対象地⑤ [地区広場](南西から撮影)



対象地⑥ (南西から撮影)



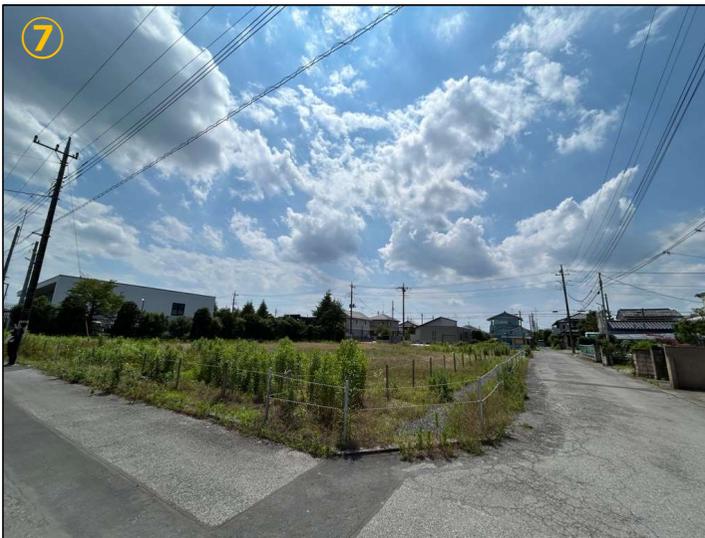
広内町第2、第3住宅



対象地⑦（北西から撮影）



南東敷地は駐車場貸出中



対象地西側の県営住宅跡地



西側敷地内通路

広内町第2、第3住宅



残存する市営住宅



東側市道(4 m程度)(南から撮影)



敷地内通路 (4 m程度、開渠)



東側市道(4 m程度)(北から撮影)